

東京精神医学会

第123回学術集会プログラム

開催日：2021年11月6日(土)

【学 術 集 会】 9:45～17:25

〈ランチョンセミナー 12:10～13:00〉

会 場：ステーションコンファレンス東京 402ABCD

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4階

TEL 03-6888-8080 (代表)

ご出席の際の注意事項

学術集会にご出席の際は、下記注意事項をご確認のうえ、ご協力をお願いいたします。

- 会費2021年度分が未納の場合は、必ず前もって納入したうえでご参加ください。当日受付での会費納入はご遠慮ください。
- 密を避けるため、定員を原則50人とします。満席の場合、会場入り口で係員の指示に従ってください。
- 会場入り口で検温と手指消毒を行い、会場施設内ではマスクを着用してください。

体調不良の場合は参加をお控えください。

第123回学術集会プログラム

9:45 開会の辞

鈴木正泰 (日本大学)

9:50～10:50 【統合失調症とその他の精神病】 単位取得対象(1単位)

座長 片桐直之 (東邦大学)

1. 新型コロナウイルス流行の影響を受けた留学生の急性一過性精神病性障害の1例

○光 武 麻 子 (東京大学) 藤 岡 真 生 (東京大学)
日 吉 史 一 (東京大学) 正 岡 美 麻 (東京大学)
上 瀬 大 樹 (東京大学) 近 藤 伸 介 (東京大学)
笠 井 清 登 (東京大学)

2. 定期的な休息入院により症状安定が得られた統合失調症の1例

○森 優 奈 (陽和病院) 山 崎 弘 暁 (陽和病院)
永 島 美 保 (陽和病院) 榎 野 真 実 (陽和病院)
牛 尾 敬 (陽和病院)

3. 微弱な陽性症状を伴わないARMSへの治療的介入についての考察

○内 山 紗 也 (東京医科歯科大学) 八 幡 拓 実 (東京医科歯科大学)
本 川 友 紀 子 (東京医科歯科大学) 涌 井 隆 行 (東京医科歯科大学)
田 村 赳 紘 (東京医科歯科大学) 松 本 有 紀 子 (東京医科歯科大学)
高 木 俊 輔 (東京医科歯科大学) 杉 原 玄 一 (東京医科歯科大学)
高 橋 英 彦 (東京医科歯科大学)

4. クロザピンとECTに抵抗性を示す統合失調症に対して持効注射剤が有効であった1例

○青 塚 伸 孝 (茨城県立こころの医療センター) 米 澤 慎 二 郎 (茨城県立こころの医療センター)
大 久 保 達 明 (茨城県立こころの医療センター) 日 向 勝 之 (茨城県立こころの医療センター)
田 口 高 也 (茨城県立こころの医療センター) 影 山 治 雄 (茨城県立こころの医療センター)
堀 孝 文 (茨城県立こころの医療センター)

5. 強迫性障害とカタトニアの判別に苦慮した児童症例

- 青木 芳子 (横浜市立大学医学部児童精神科) 藤田 純一 (横浜市立大学医学部児童精神科)
武越 百恵 (横浜市立大学医学部児童精神科) 菱本 明豊 (横浜市立大学)

10:55 ~ 11:55 【脳器質性精神障害1】 単位取得対象(1単位)

座長 舘野 周 (日本医科大学)

6. その経過中に出現した幻覚・妄想に対し、抗精神病薬が奏功した脊髄小脳変性症の1例

- 南 拓人 (国立精神・神経医療研究センター) 向井 洋平 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部)
佐藤 英樹 (国立精神・神経医療研究センター) 藤井 猛 (国立精神・神経医療研究センター)

7. 重度認知機能障害を呈する慢性進行型神経ペーチェット病が疑われた40代女性の1例

- 関井 智郷 (東京医科歯科大学) 榎本 晟也 (東京医科歯科大学)
市橋 雅典 (東京医科歯科大学) 宮島 美穂 (東京医科歯科大学)
治徳 大介 (東京医科歯科大学) 田村 赳紘 (東京医科歯科大学)
杉原 玄一 (東京医科歯科大学) 高橋 英彦 (東京医科歯科大学)

8. 抑うつ症状が先行し治療中に幻視を認めたParkinson病の1例

- 塩野 良太 (東邦大学) 阿部 逸郎 (東邦大学)
船渡川 智之 (東邦大学) 山口 大樹 (東邦大学)
片桐 直之 (東邦大学) 根本 隆洋 (東邦大学)

9. 微小妄想を呈して器質性気分障害が考えられた中枢神経原発悪性リンパ腫の1例

- 清水 直樹 (埼玉医科大学) 海老原 弘剛 (埼玉医科大学)
大島 史織 (埼玉医科大学) 岡井 公志 (埼玉医科大学)
上村 永 (埼玉医科大学) 村田 佳子 (埼玉医科大学)
平田 吾一 (埼玉医科大学) 新井 久稔 (埼玉医科大学)
渡邊 さつき (埼玉医科大学) 松岡 孝裕 (埼玉医科大学)
松尾 幸治 (埼玉医科大学)

10. 軽度認知障害者における認知力アップデイケアの出席率と局所脳容積減少量との関連性の解明

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ○朴 要 俊 (水海道厚生病院) | 太 田 深 秀 (筑波大学) |
| 根 本 みゆき (筑波大学) | 沼 田 悠梨子 (筑波大学附属病院) |
| 北 畠 綾 子 (筑波大学附属病院) | 高 橋 卓 巳 (筑波大学) |
| 根 本 清 貴 (筑波大学) | 田 村 昌 士 (筑波大学) |
| 関 根 彩 (筑波大学) | 金 田 裕 子 (筑波大学附属病院) |
| 新 井 哲 明 (筑波大学) | |

12:10～13:00 〈ランチョンセミナー〉 単位取得対象ではありません。

司会 鈴木正泰先生 (日本大学医学部精神医学系精神医学分野)

精神医療に睡眠学が貢献できること

三島和夫先生 (秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座)

13:10～14:10 【脳器質性精神障害2】 単位取得対象(1単位)

座長 金野倫子 (埼玉県立大学/日本大学)

11. 薬剤調整により行動障害の改善を認めた難治頻回部分発作重積型急性脳炎(AERRPS)後の1例

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| ○丸 藤 雅 大 (学会会木村病院) | 山 本 翔 (千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター) |
| 高 野 沙 唯 (千葉大学) | 永 野 顕 信 (千葉大学) |
| 永 瀬 将 史 (千葉大学) | 田 村 真 樹 (千葉大学) |
| 橘 真 澄 (千葉大学) | 木 村 敦 史 (千葉大学) |
| 佐々木 剛 (千葉大学) | 石 川 雅 智 (千葉大学) |
| 伊 豫 雅 臣 (千葉大学) | |

12. 眼感染症後に出現した幻視が視力回復に伴って速やかに改善した1例

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ○西 川 慈 子 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) | 森 啓 輔 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) |
| 醍 醐 龍之介 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) | 山 越 尚 也 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) |
| 中 村 咲 美 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) | 山 寺 亘 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) |
| 伊 藤 洋 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター) | 繁 田 雅 弘 (東京慈恵会医科大学) |

13. てんかんに合併した心因性非てんかん発作の1例

- 柏崎 祥大 (東京医科歯科大学) 治徳 大介 (東京医科歯科大学)
宮島 美穂 (東京医科歯科大学) 市橋 雅典 (東京医科歯科大学)
田村 赴紘 (東京医科歯科大学) 杉原 玄一 (東京医科歯科大学)
高橋 英彦 (東京医科歯科大学)

14. 線条体ラクナ梗塞に合併した高齢発症うつ病の1例

- 西村 晃萌 (東京医科歯科大学) 中村 知 (東京医科歯科大学)
銭 璃々奈 (東京医科歯科大学) 豊田 早織 (東京医科歯科大学)
藤野 純也 (東京医科歯科大学) 塩飽 裕紀 (東京医科歯科大学)
田村 赴紘 (東京医科歯科大学) 杉原 玄一 (東京医科歯科大学)
高橋 英彦 (東京医科歯科大学)

15. 著明な行動障害を呈した、意味性認知症の症例

- 新田 斉久 (駒木野病院)

14:15～15:15 【症状性・中毒性精神障害】 単位取得対象(1単位)

座長 鈴木 健文 (山梨大学)

16. うつ病性昏迷が疑われたが脳波所見が決め手となり肝性脳症と診断された1例

- 花村 奈々 (東京武蔵野病院) 石川 美加 (東京武蔵野病院)
本田 明 (東京武蔵野病院内科)

17. レベチラセタム投与後の著明な精神症状により医療保護入院を必要とした2例

- 津田 眞珠子 (上都賀総合病院) 塩田 勝利 (自治医科大学)
高山 剛 (上都賀総合病院) 高野 学 (上都賀総合病院)

18. 認知症精査目的に入院し一酸化炭素による遅発性脳症が疑われた1例

- 朝倉 忠孝 (駒木野病院) 笠原 麻里 (駒木野病院)
田 亮介 (駒木野病院) 菊本 弘次 (駒木野病院)
渡邊 衡一郎 (杏林大学)

19. 全盲患者のアルコール離脱症状として幻視が生じた1例

- 榎本幸輔 (東京女子医科大学) 森永頼鷹 (石郷岡病院)
河崎明子 (石郷岡病院) 関根吉統 (石郷岡病院)
石郷岡 純 (石郷岡病院)

20. 練炭による自殺企図後に間歇型一酸化炭素中毒をきたした1例

- 渡邊慎太郎 (山梨大学) 安田和幸 (山梨大学)
有賀 祐 (山梨大学) 平田卓志 (山梨大学)
上村拓治 (山梨大学) 鈴木健文 (山梨大学)

15:20～16:20 【電気けいれん療法】 単位取得対象(1単位)

座長 杉原玄一 (東京医科歯科大学)

21. 電気けいれん療法により寛解した90歳代の大うつ病性障害患者の1例

- 多田照生 (山梨大学) 安田和幸 (山梨大学)
石橋暁文 (山梨大学) 渡邊慎太郎 (山梨大学)
鈴木健文 (山梨大学)

22. MSA-Pによる精神病症状に対してmECTが奏功した1例

- 八幡拓実 (東京医科歯科大学) 内山紗也 (東京医科歯科大学)
本川友紀子 (東京医科歯科大学) 涌井隆行 (東京医科歯科大学)
田村 昶 紘 (東京医科歯科大学) 高木俊輔 (東京医科歯科大学)
松本有紀子 (東京医科歯科大学) 杉原玄一 (東京医科歯科大学)
高橋英彦 (東京医科歯科大学)

23. 修正型電気けいれん療法が有効であった強迫性障害の1例

- 内田悠生 (神奈川県立精神医療センター) 福井英里 (神奈川県立精神医療センター)
森脇久視 (神奈川県立精神医療センター) 中田雅子 (神奈川県立精神医療センター)

24. 激しい苦悶感から自殺企図、暴力を繰り返し、電気痙攣療法が奏功した激越性うつ病の1例

- 関 勉 (茨城県立こころの医療センター) 木内雄介 (茨城県立こころの医療センター)
青塚伸孝 (茨城県立こころの医療センター) 伊藤太郎 (石崎病院)
小松崎智恵 (茨城県立こころの医療センター) 堀孝文 (茨城県立こころの医療センター)

25. 電気けいれん療法によって静座不能が著明に改善したうつ病の1例

- 豊田健裕 (東京大学) 上瀬大樹 (東京大学)
榊原英輔 (東京大学) 頓所詩文 (東京大学)

16:25 ~ 17:25 【その他の精神障害】 単位取得対象 (1 単位)

座長 中里道子 (国際医療福祉大学)

26. クロナゼパムが奏功した睡眠関連律動性運動障害の1例

- 柿本建治郎 (日本大学) 村田沙樹子 (日本大学)
斎藤かおり (日本大学) 金子宜之 (日本大学)
権寧博 (日本大学板橋病院睡眠センター/日本大学呼吸器内科) 陳和夫 (日本大学板橋病院睡眠センター/日本大学呼吸器内科)
内山真 (日本大学/東京足立病院) 鈴木正泰 (日本大学)

27. 食思不振と選択性緘黙を呈し診断と治療に難渋した10歳代女性の1例

- 大竹真央 (東京都保健医療公社荏原病院) 峰村明里 (東京都立松沢病院)
上 蘭 礼 (東京都立小児総合医療センター)

28. 心的外傷後に長期不登校とけいれんを認め複雑性PTSDに準じた治療が有効と考えられた心因性非てんかん性発作の1例

- 落合綾香 (済生会鴻巣病院) 三宅大輔 (済生会鴻巣病院支援部地域連携科)
清水明夫 (済生会鴻巣病院支援部臨床心理科) 原川翔太 (済生会鴻巣病院)
池本 楽 (済生会鴻巣病院) 小田部浩幸 (済生会鴻巣病院)

29. ストレス耐性の脆弱性により自殺企図した適応障害の1例

○青木弘枝（東京都保健医療公社豊島病院） 尾崎 茂（東京都保健医療公社豊島病院）
平澤翔太（東京都保健医療公社豊島病院）

30. 小児白血病の治療中に躁状態を呈した1例

○山田昂平（慶應義塾大学） 宇田川 梨紗（慶應義塾大学）
高宮彰紘（慶應義塾大学） 三村 将（慶應義塾大学）

閉会の辞

鈴木正泰（日本大学）

所属が精神神経科系の場合は科名を省略して施設名のみを記載しています。

※演者の先生方はお手元の「発表の詳細」を参照のうえ、発表要旨を必ず提出してください。

※発表要旨は学会Webサイトの会員専用ページに掲載し、さらに「精神神経学雑誌」に投稿します。

●第122回学術集会抄録は「精神神経学雑誌」（巻号未定）に掲載の予定です。

※ご発表を論文にまとめ、ぜひオンラインジャーナルにご投稿ください。投稿の詳細は学会Webサイトで「学会誌」のページから投稿規定をご参照ください。

東京精神医学会

104-0045 東京都中央区築地2-3-4 9F
トリョウビジネスサービス内

TEL：03-3547-9683

E-mail：jimukyoku@tkypa.org

Webサイト：https://www.tkypa.org

第124回学術集会開催と演題募集のご案内

東京精神医学会第124回学術集会を下記のとおり開催いたします。演題を募集しますので、ふるってご応募ください。

(新型コロナウイルス感染の状況によっては、開催方法の変更や開催中止の可能性もあることをご了承ください。その場合は学会Webサイトでお知らせいたします)

第124回学術集会会長 加藤 忠史 (順天堂大学)

開催日：2022年3月12日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京 402ABCD
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4階)

演題募集期間：2021年11月30日(火)から2022年1月18日(火)24時まで

募集演題数：24題 ※期限前でも募集演題数に達した時点で募集を終了します。

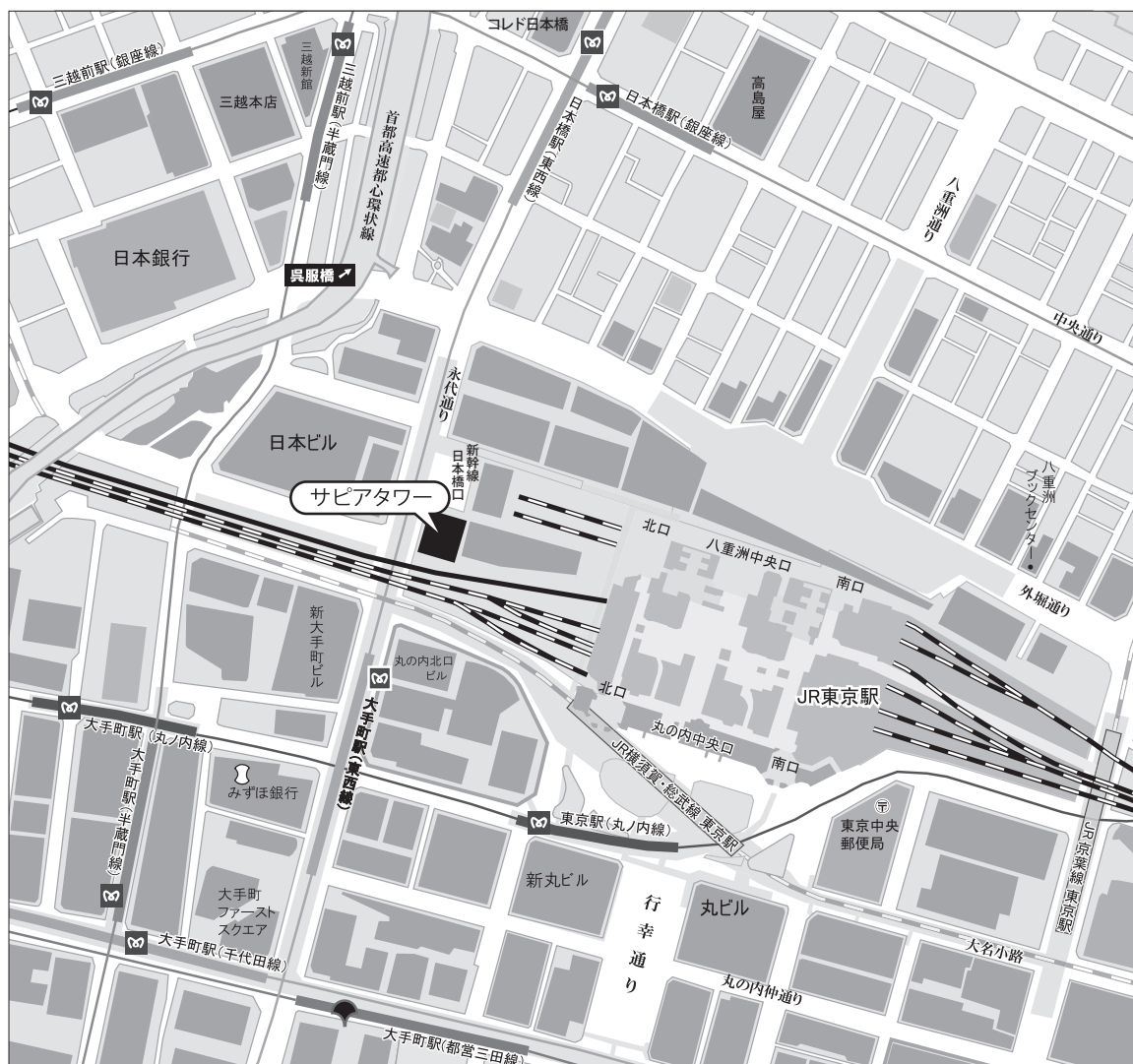
応募方法：学会Webサイトからご応募ください。 <https://www.tkypa.org>

問合せ先：東京精神医学会事務局

注 意

- 口演者は会員に限られます。
- 一題15分(発表10分・質疑5分)の予定ですが、演題数によって多少変わることがあります。
- 採否は募集終了後に通知します。
- 応募は学会Webサイトでのみ受け付けます。電子メール、郵便等では受け付けておりません。

【会場案内図】



- JR「東京駅」八重洲北口改札から徒歩約3分、新幹線日本橋口改札から徒歩約2分
- 東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口直結

精神科専門医資格更新に必要な単位の取得について

今回の学術集会への参加で取得できる単位数は次のとおりです。

- セッション名の横に記載のあるセッションが単位取得対象です。
- 対象3セッション以上への参加で3単位取得可能です。(最大取得上限3単位)
- 学会単位・機構単位(精神科領域)のいずれにも単位付与されます。
- 当日受付で参加登録してください。

※単位の詳細については日本精神神経学会事務局にお問い合わせください。